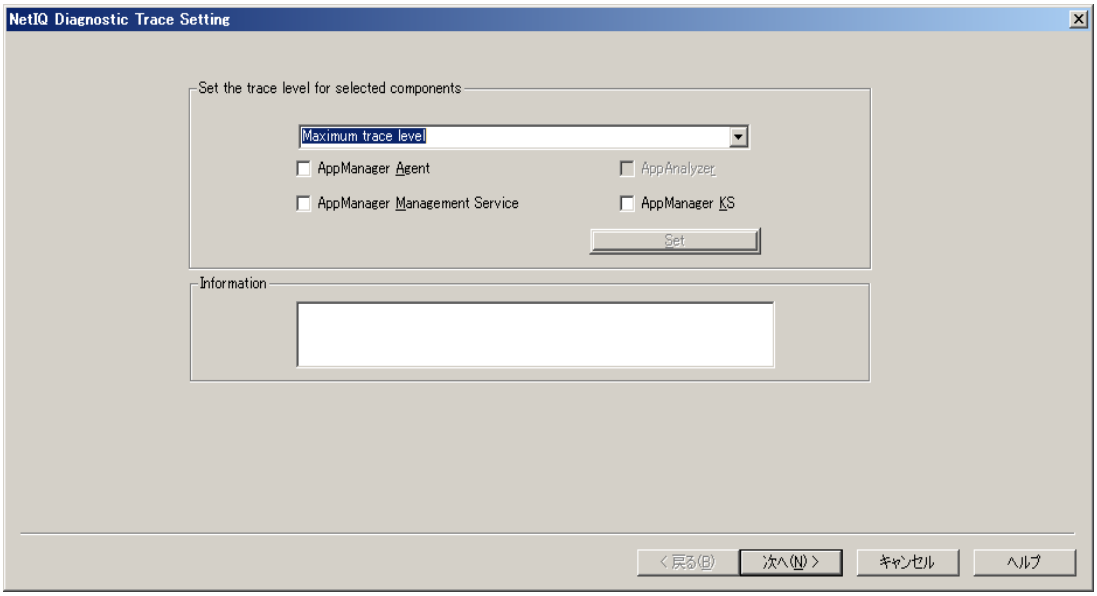
netiqdiag の手順

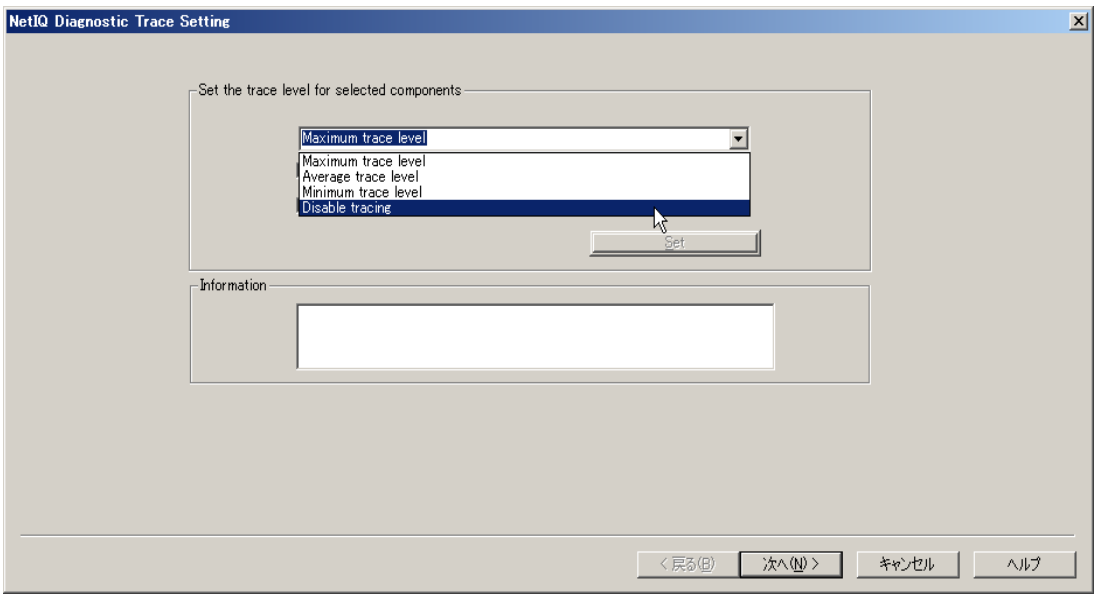
- Windows

※ NetIQDiag.exeをダウンロードするには、ここをクリックしてください。

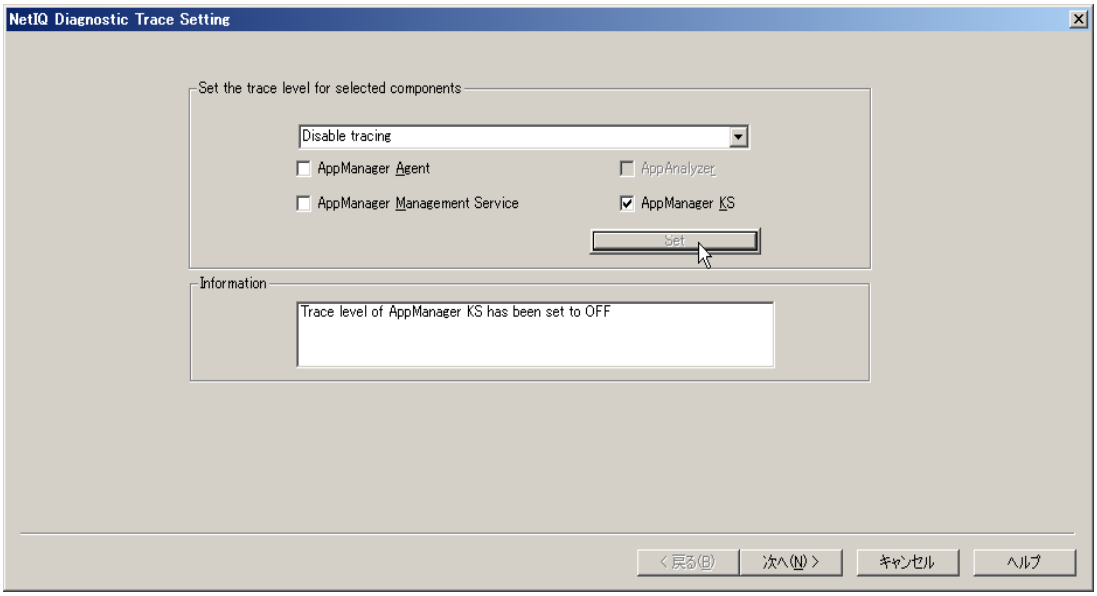
1. NetIQDiagの実行（下記の例は、NetIQDiag.exe ver.4.6.2000.10）
   - 管理者でログオン
   - スタート > ファイル名を指定して実行 にて netiqdiag と入力
   - NetIQ Diagnostic Trace Setting ダイアログが表示されます。



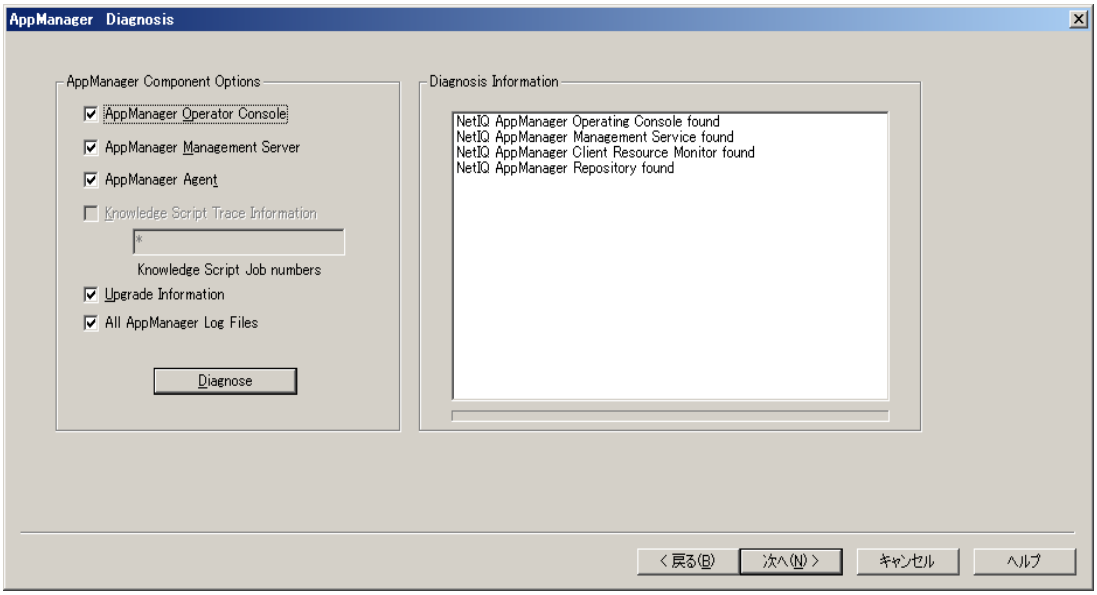
2. NetIQ Diagnostic Trace Setting ダイアログ
   - "Set the trace level for seleceted components" にて、"Disable Tracing" をリストから選択。



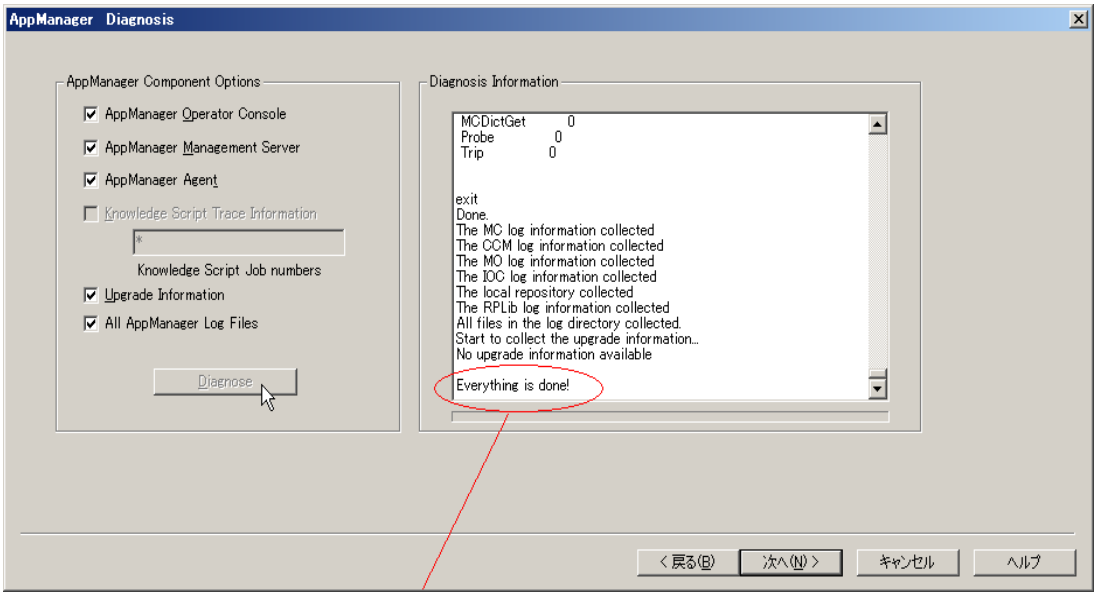
   - AppManager KS をチェックし、"Set" をクリック



- 次へ をクリック
- AppManager Diagnosis ダイアログが表示されます。

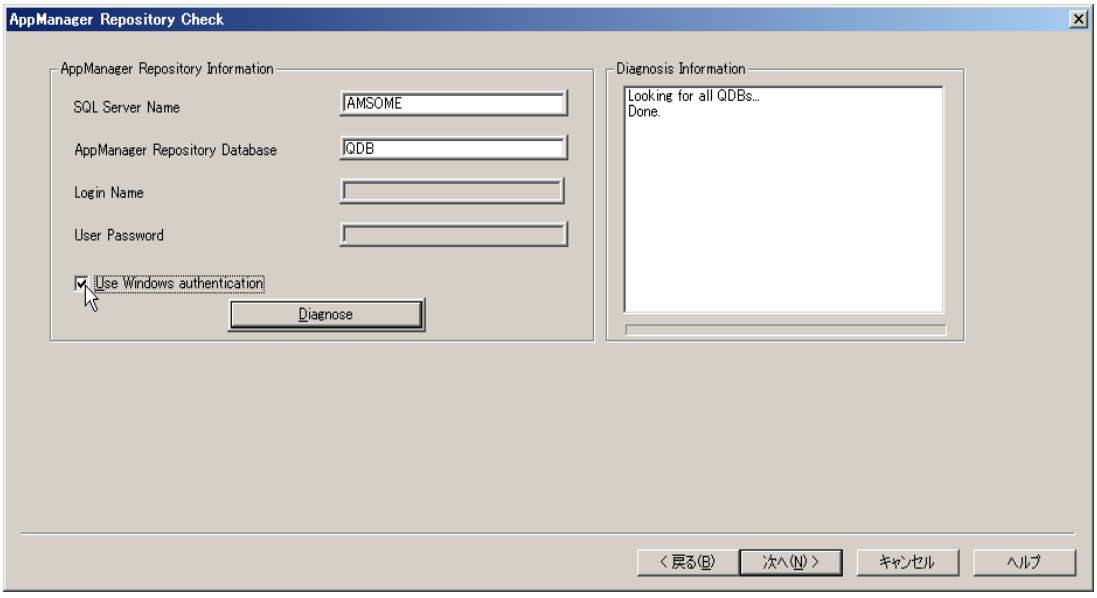


3. AppManager Diagnosis ダイアログ
   - Diagnose ボタンをクリック

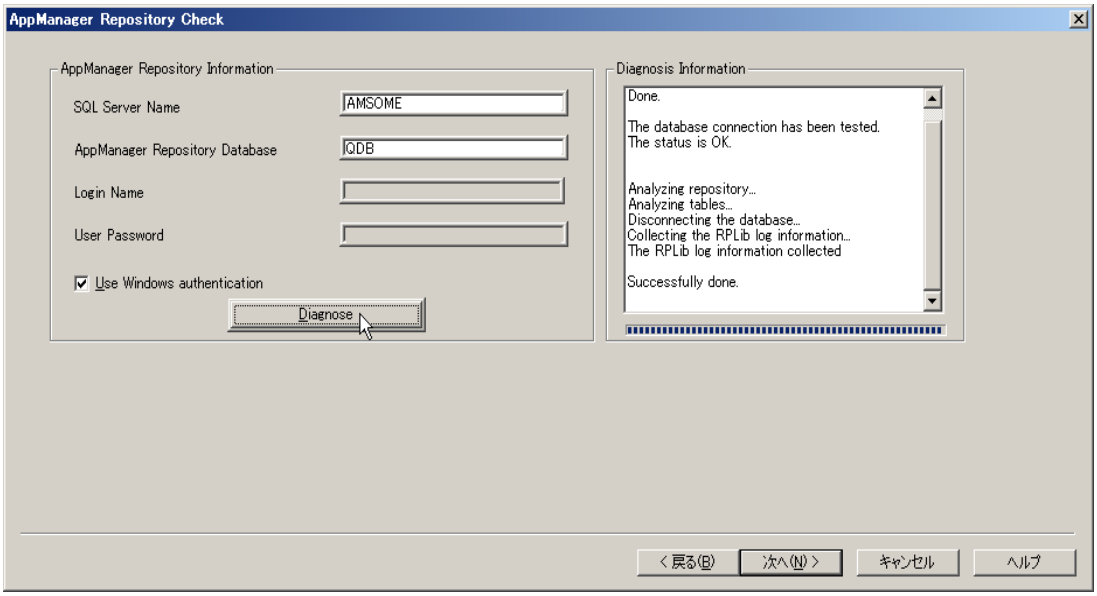


- 右のスクロール画面に done. と結果が返されてから次へ。
- 管理サーバの場合、AppManager Repository Check ダイアログが、管理サーバ以外の場合は、Windows and SQL Diagnosis ダイアログが表示されます。

4. AppManager Repository Check ダイアログ （管理サーバの場合のみ）
   - Use Windows Authentication をチェック

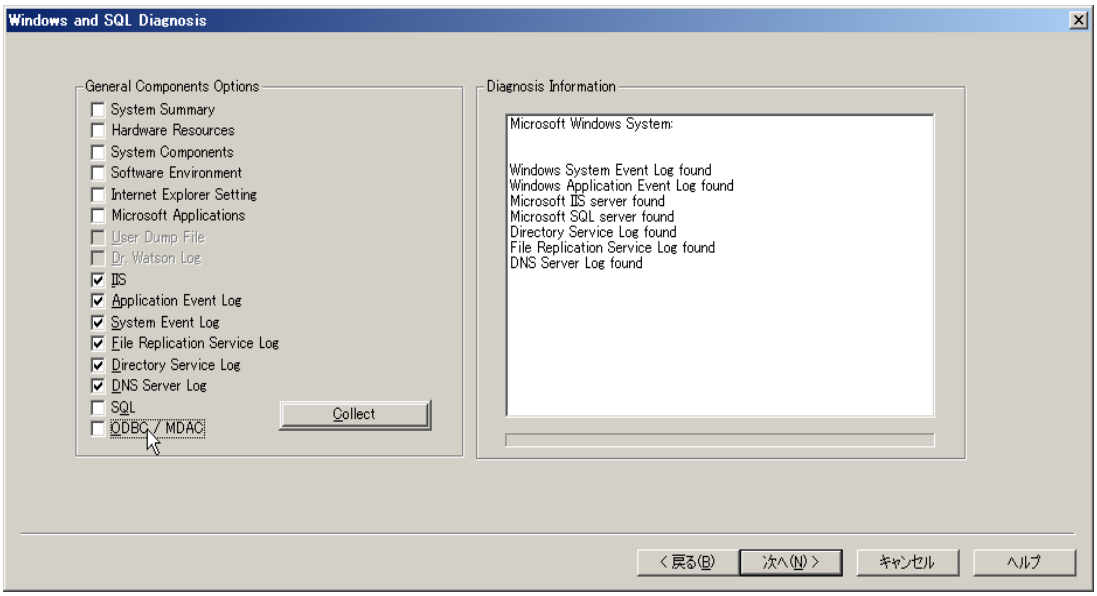


   - Diagnose ボタンをクリック

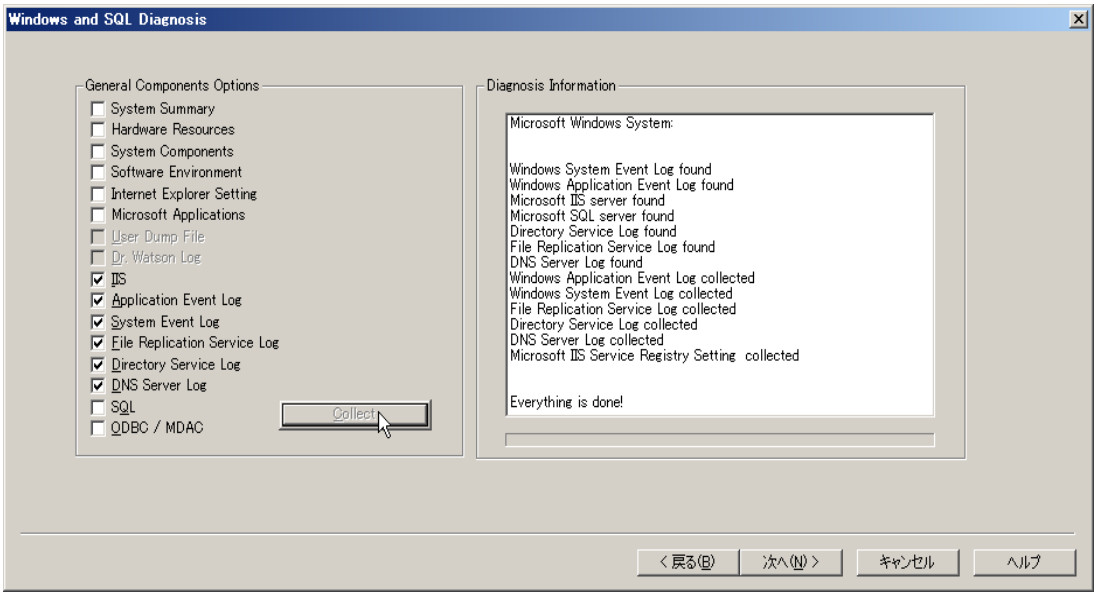


- 次へ をクリック

5. Windows and SQL Diagnosis ダイアログ
   - User Dump File、SQL、ODBC のチェックをはずす。

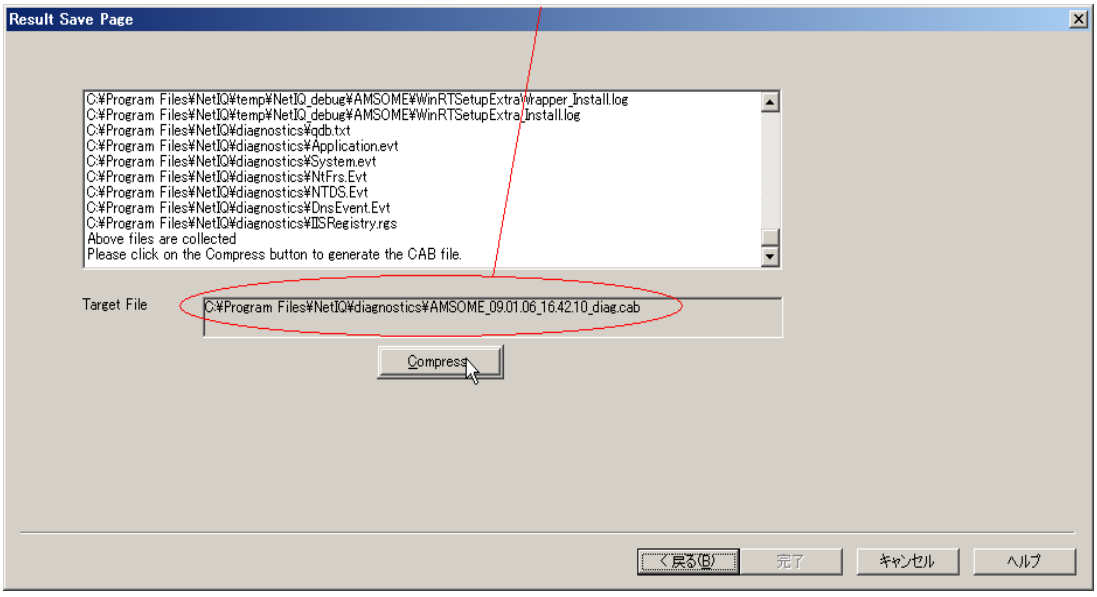


- Collect ボタンをクリック



- 次へ をクリック

6. Result Save Page ダイアログ
   - Compress ボタンを押し下げ、作成された Target File を回収してください。



- 完了 をクリック

- UNIX / Linux の場合（例、インストール先は "/usr/netiq"）
  - 下記コマンドを入力します。
    - su -
    - cd /usr/netiq/UnixAgent/bin
    - rm core*
    - ./NetiqDiag
    - cd ../diag
  - "Netiq Diagnostics Utility has completed." が表示されたら、それに続く作成ファイルを回収してください。

閉じる